

## 2025年10月5日 第49回コミュニケーションセミナー案内

主催：コミセミ準備委員会

今回は、「終末期医療における医接連携と柔道整復師の役割」をテーマに行います。講師は森川由基先生（帝京平成大学大学院健康科学研究科柔道整復学専攻 講師、植草学園大学保健医療学部リハビリテーション学科 客員教授）をお招きしてお話いただきます。森川由基先生は、もりかわ在宅ケアクリニック 院長として、在宅医療や整形外科の臨床にも従事されています。それでは皆様、同期をお誘いの上、ご参加ください。

皆様のご参加を心よりお待ちしております！

森川由基先生の詳細（<https://researchmap.jp/yoshiki-m/>）

[日時] 2025年10月5日（日）9:00～11:00

[場所] 米田柔整専門学校3F講堂

[内容] 「最期は家で穏やかに… ～終末期医療における医接連携と柔道整復師の役割～」

終末期の患者を「治す医療」には限界がありますが、その先にある「支える医療」に限界はありません。疼痛を改善したり、運動機能を維持したりすることでADLやQOLが改善すれば、自分らしい生活の維持に繋がります。命に直結しない運動器への対応は後回しになりがちですが、残された大切な時間を住み慣れた環境で最期まで人間らしく生き抜こうとしている患者さんにとって、運動機能の維持は不可欠です。在宅医療で求められている柔道整復師の役割について解説しながら、全身状態を管理する在宅医と運動器を支える柔道整復師が連携し、接骨院の往療を積極的に活用して頂くための医接連携に必要な知識と内容を中心にお話します。

[参加費用] 1000 円

[参加対象] 米田柔整専門学校 卒業生

※稀ではありますが「申し込んだのに受付がされていない」ということが起こっております。その場合、お手元に送られている自動返信メールを紙または画面にて確認させていただく場合がございますので、印刷してお持ちいただくか、画面にて確認するために削除しないようお願いいたします。

※自動返信メールが届かない場合は学校までご連絡ください。

※受講票は送付しませんのでそのままご来場ください。

※公共交通機関でお越しください。 お車でお越しの際は学校周辺のコインパーキングを利用してください。

※キャンセルの場合は早めにご連絡ください。

（キャンセルの場合もフォームをご利用ください）

※当日体調のすぐれない方は参加を控えていただくようお願いいたします。